

2024 年度 【海の学びのプラットフォーム構築プロジェクト】

【目的】

1. 最終目標

海に関わる魅力ある多様なプログラムの提供および開発を主導しながらモデル事業としての実績をつくる。それをもって、産官学民の全領域を巻き込んだ社会的ムーブメントを作り出すとともに、2030 年までに、海に関わる学びがあらゆる場にて常態化している状況＝海の学びの文化形成を目指す。

2. 中長期

非教育業界の企業および団体、専門家と連携し海洋教育の授業実践を行い、その事例を魅力あるものとして広く周知することを通し、非教育業界の海洋教育への参入数の増加が期待される。その結果、教育現場以外からの海洋教育の盛り上がりが見込まれる。

【目標】

1. 到達目標

教育界において、学習指導要領に基づくスタンダードな海洋教育が定着し、高度化が図られている状態を作る。加えて、社会教育や生涯学習を含み込む新しいあり方の海洋教育を作り出す動きが展開している状態を目指す。これまでは教育界に閉じてきていた海の学びが、社会に開きカルチャーとして位置づいていくその端緒を生み出し、さまざまなアクターの参入によって、その後の展開が作られていく状態を目指す。

2. 数値目標

(1) コンテンツ・プログラムの直接的な受益者：教育団体<350>、教育関係者<3500 名>、学習者<70000 名>

(2) イベント開催：全国規模 1 回、小規模 2 回

(3) WEB：各コンテンツ月 5,000PV、年間 60,000PV、アクティブユーザー4,000

(4) 波及効果の測定：・波及効果の測定：実施先の児童生徒および保護者、教員へのアンケート調査を実施する。各種メディアでの記事掲載、新聞の記事掲載、テレビ放映の有無による行う。

【事業内容】

1. 海の学びのカリキュラム・教材開発

(1) 時期：2023 年 4 月～2024 年 3 月

(2) 内容：

a. 道徳

b. 総合的な学習

c. 海洋問題

2. 海の学びのアプローチ開発

- (1) 時期：2023年5月～2024年2月（計2回）
- (2) 場所：全国
- (3) 参加者：30名（児童生徒、教員、保護者）
- (4) 内容：写真や音楽等を用いた学びのアプローチ開発のためのワークショップ

3. 海洋教育における実践支援

- (1) 時期：2023年5月～2024年3月
- (2) 場所：全国
- (3) 対象：パイオニアスクールプログラム採択校、採択地域等12
- (4) 内容：海洋教育実践地域及び学校の支援

4. コンテンツ発信

- (1) 時期：2023年4月～2024年3月
- (2) 場所：ウェブサイト
- (3) 内容：カリキュラム・教材、その他海洋教育にかかる情報発信

【成果物】

1. カリキュラム・教材冊子：3種類
2. 新規アプローチ開発によるポスター：8種類
3. 刊行物：2冊

2